

○ 調査問題

- (2) ここまでで、朝は何時から働いているのか、上手にパンを作るために気を付けること、パンの種類、という意見が出ました。とありますが、田中さんのこの発言には、どのような効果がありますか。もっともふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。
- 1 それまでに出た意見をまとめることで、みんなが話し合った内容を理解しやすくしている。
 - 2 山口さん自身が質問する内容を新たに提案すること
 - 3 前回の話し合いで上がった意見を確認し、話し合いの中心となる内容を確かめている。
 - 4 自分が良いと思った意見をあげることで、話し合いを思い通りの方向にすすめている。

16 田中さんの学校では、地域で働いている人にインタビューすることになりました。田中さんのグループは、パン職人の山口さんにインタビューすることになり、事前に質問する内容を話し合っています。次の【話し合いの様子】と【インタビュー用のメモ】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

田中：今日は、前回の話し合いに続いて、質問したいことを話し合います。前回は、「パン屋さんになる理由をたずねる」ということが決まりました。ほかにはありますか。

大川：私は、朝は何時から働いているのか聞いてみたいです。朝学校に行くとき、パン屋さんの前を過ると、もう職人さんたちがいっしょうけんめい働いているのを見かけるからです。

北島：いいですね。私は、おいしいパンを作るためのコツがあったら教えてもらいたいです。

小林：せっかくパン屋さんに質問できる機会なので、パンにどのような種類があるかも聞いてみませんか。

田中：ここまでで、朝は何時から働いているのか、上手にパンを作るために気を付けること、パンの種類、という意見が出ました。

【インタビュー用のメモ】

○質問したい内容
前回の話し合いで決まっていたこと
●山口さんがパン職人になった理由

○今日の話し合いで出た意見
●朝は何時から働いているのか
●パンの種類

○インタビューのとき注意すること
A あい手に失礼のないように敬語を使う。
B 質問したことは、メモしておく。
C 答えを聞いて、さらにその内容について質問をしなくなったら、続けて聞く。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】

- 司会者の役割を理解する。

【問題の内容】

- 司会の発言の効果として、適切なものを選択する。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	2	3	4	無解答
解答率	46.5%	10.1%	18.4%	6.8%	18.1%

- 正答率は46.5%と低く、約半数の児童が司会者の発言の意図を理解できていない。
- 誤答となる選択肢3「前回の話し合いで上がった意見を確認し、話し合いの中心となる内容を確かめている。」を選んだ児童が18.4%と最も多かった。司会の役割についてはおおむね理解できているが、「前回の」という文言を見落としたために誤答となってしまったと考えられる。
- 無解答率が18.1%であり、選択式の問題としては非常に高くなっている。30問中29問目の問題であることから、解答する時間がなくなってしまうことが考えられる。問題を解くスピードについても指導していく必要がある。

○ 指導上のポイント

話し合いを通して、自分の考えをまとめさせる指導

- ◎ 中学年の「話すこと・聞くこと」における「話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと）」の指導事項

目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

- (1) 話し合う目的や進め方を明確にする。

- 目的・・・結論を一つにまとめるために？ 考えを明確にするために？
考えを広げる（深める）ために？
- 形態・・・ペア？ 小グループ？ 学級全体？
- 役割・・・司会はどのように決めるか。

子どもたちが「考えたい！」
「話し合いたい！」と思える
ような課題設定も重要です。



【「授業スタンダード」の視点】：「教材との出会い」が引き出す「主体的な学び」

- (2) ねらいに沿った話し合いができるような手立てを講じる。

- 話し合いにおけるそれぞれの役割（司会者、記録者、参加者等）を理解させる。
 - ・ 進行表の作成（児童の実態に応じて）
 - ・ 模範となる話し合いの提示（教材用CDの活用）
- 児童が話し合いを相互評価できるようにする。
 - ・ 話し合うポイント（それぞれの役割を果たしているか、話題に沿って発言しているかなど）を明確にした振り返りの時間の設定

話し合うことが目的ではなく、話し合いを通して、どのような資質・能力を育成するのかを考えましょう。



【「授業スタンダード」の視点】：「見方・考え方」に基づく「学級全体での話し合い」

- (3) 話し合いによって学んだことを今後の学習に生かせるようにする。

- 話し合いのポイントを継続的に指導する。
- 他教科と関連させる。（特別活動、総合的な学習の時間 等）

○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

- ア 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため。
- イ 具体的な例が、ほかにもあるかを確かめるため。
- ウ 発表の中で、自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため。
- エ 相手の考えの中で、最も伝えたいことをたずねるため。
- オ いろいろな遊び方があることを相手に伝えるため。

山本 ありがとうございます。それぞれの発表について質問はありませんか。

上野 松田さんに質問があります。「おにっこ」以外に、どんな遊びがあると思いますか。

松田 例えば、ドッジボールがよいのではないのでしょうか。やわらかいボールを使うなど、安全面も考えれば下級生もいっしょにできると思います。

【出典】
「活用力育成シート」
R元 小学5年 第1回